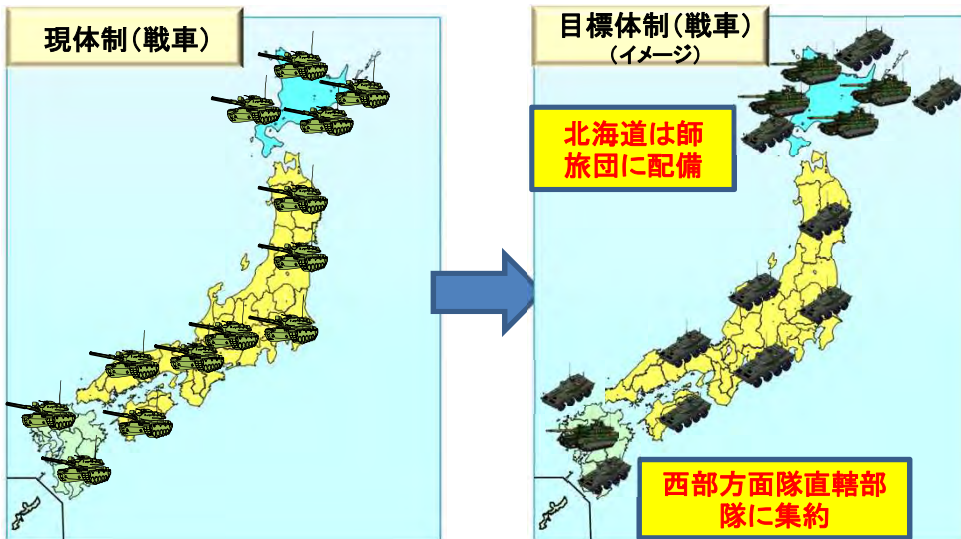


各自衛隊の体制 — 陸上自衛隊③

効率化・合理化の徹底

○ 主に冷戦期に想定されていた大規模な陸上兵力を動員した着上陸侵攻のような侵略事態への備えについては、不確実な将来情勢の変化に対応するための最小限必要な範囲に限り保持することとし、**より一層の効率化・合理化を徹底**



本州の部隊から戦車を廃止

各師団・旅団には機動戦闘車を導入

編成定数

○ **約15.9万人を維持** 大規模災害等にも十分な規模の部隊で対応

戦車・火砲の目標体制

【現体制】 (平成25年度末)		【目標体制】
戦車	約700両	約300両
火砲	約600門/両	約300門/両

※ 22大綱水準(約400)からも大幅に削減

本州・九州の火砲を集約

